

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 6 月 7 日

事務事業名		学童クラブ運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010101000446
						単独/補助	補助		040201
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	児童福祉課
総合計画の施策名		0101 子育て支援及び少子化対策の推進						課長名	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						グループ	子育て支援G
施策名		01 子育て支援及び少子化対策の推進						担当者名	
手段名		01 ①子育ての支援体制の充実							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	03	02	04	01	00	放課後児童対策事業		
						単年度繰返し (平成15年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠 桜川市学童クラブの設置及び管理に関する条例									
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学1年から6年までの児童が放課後の時間を安全に過ごすことができる学童クラブの運営。</li> <li>・岩瀬・羽黒・坂戸・南飯田・雨引・大國・樺穂・谷貝小学校・桃山学園の空教室と</li> <li>・羽黒小敷地内施設、菅根農村集落センターの10ヶ所で開設。</li> <li>・学童クラブの規模に応じ2名以上の支援員を配置し支援にあたる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設時間…通常/放課後~18時(延長有~18時30分)</li> <li>・長期休(春休・夏休・冬休)/8時~18時</li> <li>・利用者負担金…月額5,000円(別途おやつ代2,000円)</li> </ul> </li> </ul> <p>【事業費の内訳】</p> <p>報酬・旅費・車田費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備</p>	<p>3月 → 新規・継続入所の受付・決定 支援員の雇用</p> <p>4月 → 補助金実績報告</p> <p>7月頃 → 計画作成、補助申請、夏休みの指導員の雇用・体制の整備</p> <p>10月頃 → 放課+後児童支援員資格研修への支援員派遣</p> <p>毎月 → 保護者負担金納付書の送付及び徴収、支援員報酬の支払 学童クラブの運営、途中入所の受付</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
3月→新規・継続入所の受付・決定 支援員の雇用 4月→補助金実績報告 毎月→保護者負担金納付書の送付及び徴収、支援員賃金の支払	設置箇所数	ヶ所	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
	支援の単位	ヶ所	13.00	14.00	14.00	14.00	14.00
	延べ利用人数 (月別登録者計)	人	6,451.00	6,730.00	6,730.00	6,730.00	6,730.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
児童 (1年生から6年生)	児童数	人	586.00	598.00	598.00	598.00	598.00
	待機児童数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
児童が安全に過ごせる	安全に過ごせた児童数	人	586.00	598.00	598.00	598.00	598.00
	仕事と子育てが両立できている世帯数 (市民アンケート)	世帯	163.00	135.00	135.00	135.00	135.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	10,929	10,156	11,430	
		県支出金	千円	10,929	10,156	11,430	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	22,023	24,475	23,500	
		一般財源	千円	10,817	10,158	11,489	
		事業費計 (A)	千円	54,698	54,945	57,849	
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

03年度事業費 実績 (千円)		04年度事業費 予算 (千円)	
01 報酬	46,296	01 報酬	50,314
08 旅費	1,420	08 旅費	1,779
10 需用費	1,627	10 需用費	1,864
11 役務費	697	11 役務費	844
12 委託料	237	12 委託料	238
13 使用料及び賃借料	2,101	13 使用料及び賃借料	2,207
14 工事請負費	2,159	14 工事請負費	213
17 備品購入費	408	17 備品購入費	390
	合計		合計
		54,945	57,849

事務事業名	学童クラブ運営事業	事務事業No.	10101000446	所属課	児童福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
民生委員児童委員から要望があり、平成15年より開始。現在は、市内すべての小学校区に学童クラブを設置し運営している。平成27年度より、対象年齢が小学生全学年になり、子育てクラブから学童クラブへと名称変更をした。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
一部学童クラブにおいて支援員が不足している。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 放課後を安全に過ごすことができる場所に子どもを預けることで、保護者が安心して仕事に従事できるため子育て支援に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 仕事と子育ての両立を支援するために、放課後の児童の安全を確保することは市の施策として妥当であり、安心して子供を育てられる環境を整備していく必要がある。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 充実したクラブ運営を図るために支援員等の資質の向上が必要である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 子育て世帯の就労に影響する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 生涯学習課との連携
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 会計年度任用職員を雇用しクラブを運営しているため、専門業者へ業務委託している他自治体に比べ事業費が抑えられている。また、入退所受付、補助金申請他、市内10ヶ所に点在するクラブの管理運営のため業務時間を短縮することができない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全小学校区に学童クラブを開設しており、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	新型コロナウイルス感染防止のために長期間にわたり小学校が臨時休業となったが、支援員はもとより教育補助員の応援により午前中から学童クラブを開設し子どもの居場所を確保できたため、コロナ禍においても仕事と子育ての両立を支援することができた。																						
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 充実したクラブ運営を図るためには支援員の資質向上が課題であり、資格取得及び研修等の受講により必要な知識・技能を習得させるために意欲喚起が必要である。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>